調査票 1 相談支援従事者初任者研修の新しいカリキュラム案について

回答者自身について基本的な情報をお聞きします。選択肢のうち当てはまるものにを付けてください。

- ()内には都道府県・政令指定都市名をお書きください。
- (1)回答者の属性:(a.行政機関 b.都道府県相談支援専門員協会 c.都道府県相談支援専門員協会から紹介のあった相談支援専門員)
- (2)都道府県・政令指定都市名:(

) *必ず記入してください

別紙の相談支援従事者初任者研修の新しいカリキュラム案をご覧いただき、ご意見をおうかがいします。 相談支援従事者初任者研修の新しいカリキュラム案の趣旨とポイントは以下のとおりです。

《獲得目標》

- ・ソーシャルワークとしての障害者相談支援の概要を理解し、他者に説明することができる
- ・障害者ケアマネジメント、サービス等利用計画作成に関する実務を理解し、一連の業務ができる 《変更点》
- 1:【事前学習の導入】障害福祉の制度や障害特性の理解などの基礎知識についてはテキストによる事前学習を行い、研修開始時に自己評価表を提出する
- 2:【講義内容の整理】現行では同一あるいは類似した内容の講義が連続しがちであるため、講義間の内容 重複を避け、取り扱うテーマを明確にする
 - 3:【講義内容の追加】現行の「相談支援の基本姿勢」に、相談援助職の価値と倫理を追加
- 4:【意思決定支援】意思決定支援については、従来の「相談支援における権利擁護と虐待防止」を「意思 決定支援と権利擁護」とするとともに、演習の獲得目標の一つに意思決定支援を盛り込む
- 5:【演習1の変更】演習1ではモデル事例を用い、関係性の構築、アセスメント、モニタリングを含めた ソーシャルワークの基本とケアマネジメントのプロセスを丁寧に学ぶ。そのため前半の演習を1日間 2日 間に変更
- 6:【演習1の後のインターバル】演習1を受けて実際に携わっている(あるいは依頼して実習する)事例を提出し、演習2に臨めるよう、1ヶ月程度のインターバルを設ける
- 7:【演習2の変更】演習2では各自の提出事例をグループで検討し、それを踏まえて1ヶ月程度のインターバルを設けて丁寧なモニタリングを実施する。そのため後半の演習2日間 3日間に変更
- 8:【演習3の変更】事前課題による地域資源整理表を演習グループで共有するとともに、資源開発・地域づくり等について提出事例をもとに検討するとともに事例等を地域で実際に相談するイメージを持つ
 - 9:初任者研修の標準的な学習教材を開発する

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)

相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(H28-身体・知的-一般 004)

問1 以下の項目について、「たいへんよい(4点)」から「よくない(1点)」のうち当てはまる番号に を付けてください。また、それぞれについてご意見をご記入ください。

1.講義科目について

	たいへんよい	よい	あまりよくない	よくない	自由にご意見をお書きください					
	内容	につい	て							
1 .「相談支援とは」										
障害者総合支援法・	4	3	2	1						
関連法の動向/相談支	7	,	_	' '						
援の基本姿勢・価値・										
倫理 / 意思決定支援と	時間	時間配分について								
権利擁護 / ケアマネジ										
メント概論	,	2	2	4						
(6h)	4	3	2	1						
	内容	につい	17							
2.「相談支援の実務」										
面接・インテーク(意										
思決定支援を含む)	4	3	2	1						
/アセスメント/サ										
ービス等利用計画の	時間	配分に	つい	τ						
作成/他機関、多職										
種連携、サービス調										
整 / モニタリング	4	3	2	1						
(6h)										
	内容について									
	4	3	2	1						
3.「その他基礎知識」										
(1h)	方法	につい	1T	<u> </u>						
	4	3	2	1						

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者政策総合研究事業)

相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(H28-身体・知的-一般 004)

2.演習科目について

	たいへんよい	より	あまりよくない	よくない	自由にご意見をお書きください					
	内容	につい	て							
1 .「演習 1 」 事例研究 1	4	3	2	1						
《モデル事例》	時間	時間配分について								
(12h)	4	3	2	1						
	内容	につい	て							
2 . 「演習2-1 」 実践研究1	4	3	2	1						
《提出事例》	時間	配分に	ついて							
(3.5h)	4	3	2	1						
	内容について									
3 . 「演習3-1 」 地域資源と協議会	4	3	2	1						
《提出課題》	時間配分について									
(2.5h)	4	3	2	1						

相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(H28-身体・知的-一般 004)

	たいへんよい	ţ,	あまりよくない	よくない	自由にご意見をお書きください					
	内容	内容について								
4. 「演習2-2 」 実践研究2	4	3	2	1						
《提出課題》	時間配分について									
(3.5h)	4	3	2	1						
	内容	につい	て							
5. 「演習2-3 」 実践研究3	4	3	2	1						
《提出事例から 1 事	時間	· 配分に	ついて	<u>. </u>						
例選出》 (2.5h)	4	3	2	1						
	内容について									
6. 「演習2-4 」 実践研究4	4	3	2	1						
《提出課題》	時間	配分に	ついて	5						
(3.5h)	4	3	2	1						

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者政策総合研究事業)

相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(H28-身体・知的-一般 004)

	たいへんよい	よい	あまりよくない	よくない	自由にご意見をお書きください				
	内容	につい	τ						
7 . 「演習3-2 」 地域資源と協議会	4	3		1					
(2.5h)	時間	配分に	ついて	-					
(2.311)	4	3	2	1					
	内容について								
8 .「振り借り」	4	3	2	1					
(0.5h)	時間配分について								
	4	3	2	1					

問 2	事前学習の導入 (1 の理由による)について、自由にご意見をお書きください。

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金(障害者政策総合研究事業)
相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(H28-身体・知的-一般 004)
問3 新しいカリキュラム案で設けたインターバルについて、自由にご意見をお書きください。
(1)演習1(モデル事例による演習)の後に設ける1ヶ月間のインターバル(5~ 6の理由によ
る)
(2)海羽3.1.海羽3.1/担山東河に下る滨羽)の後に気ける1ヶ日間のインカーバリ(・2の田・
(2) 演習2-1、演習3-1 (提出事例による演習)の後に設ける1ヶ月間のインターバル(7 の理
由による)
問4 新しいカリキュラム案では演習時間が現在に比べて2日間長くなっています(5~ 7の理由に
よる)。このことについて自由にご意見をお書きください。
るる。このことについて自由にと思えたの旨とくたとい。

問 5	その他、	相談支援従事者初任者研修に関して、ご意見・ご要望を自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力いただきどうもありがとうございました。 回答済みの調査票は、専用の返信用封筒にてご返送ください。

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金 (障害者政策総合研究事業)

相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究(H28-身体・知的-一般 004)